Ⅰ　決算の概要

平成27年度の決算は、一般会計で実質収支が5億9，323万1千円の黒字となり、特別会計では、国民健康保険事業費が赤字決算となっています。

なお、一般会計、特別会計の決算総括及び実質収支の対前年度比較は、次のとおりです。

平成２７年度決算総括表

（単位：千円）

会計＼区分		歳入決算額（a）	歳出決算額（b）	形式収支（c）＝（a）－（b）	翌年度に繰り越すべき財源（d）	H27実質収支（e）＝（c）－（d）	H26実質収支（f）	単年度収支（g）＝（e）－（f）
一　般　会　計		74,476,232	73,453,627	1,022,605	429,374	593,231	298,722	294,509
特別会計	国民健康保険事業費	27,498,763	28,584,521	△ 1,085,758	0	△ 1,085,758	△ 1,448,946	363,188
	国民健康保険診療施設費	115,981	115,981	0	0	0	0	0
	農業共済事業費	68,747	60,696	8,051	0	8,051	8,501	△ 450
	介護保険事業費	17,501,150	17,073,371	427,779	0	427,779	180,709	247,070
	後期高齢者医療事業費	3,538,070	3,418,745	119,325	0	119,325	112,102	7,223
	財産区	116,597	81,978	34,619	0	34,619	38,816	△ 4,197
	宝塚すみれ墓苑事業費	298,777	81,864	216,913	0	216,913	225,739	△ 8,826
	合　　計	49,138,085	49,417,156	△ 279,071	0	△ 279,071	△ 883,079	604,008
一般・特別会計合計		123,614,317	122,870,783	743,534	429,374	314,160	△ 584,357	898,517

＜形式収支＞

歳入決算額から歳出決算額を単純に差し引いた額

＜実質収支＞

歳入歳出の差引額(形式収支)から翌年度へ繰り越すべき財源を控除した額

＜単年度収支＞

当該年度の実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

Ⅱ　一般会計決算の状況

１　決算規模と決算収支

平成２７年度決算規模は、歳入７４４億７，６２３万２千円、歳出で７３４億５，３６２万７千円となり、前年度と比較して歳入が２．４％、歳出が２．３％ それぞれ増となりました。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた歳入歳出差引額（形式収支）は、１０億２，２２６０万５千円で、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は５億９，３２３万１千円となり、２億９，４５０万９千円の増となっています。

決算規模と決算収支の状況　（単位：千円）

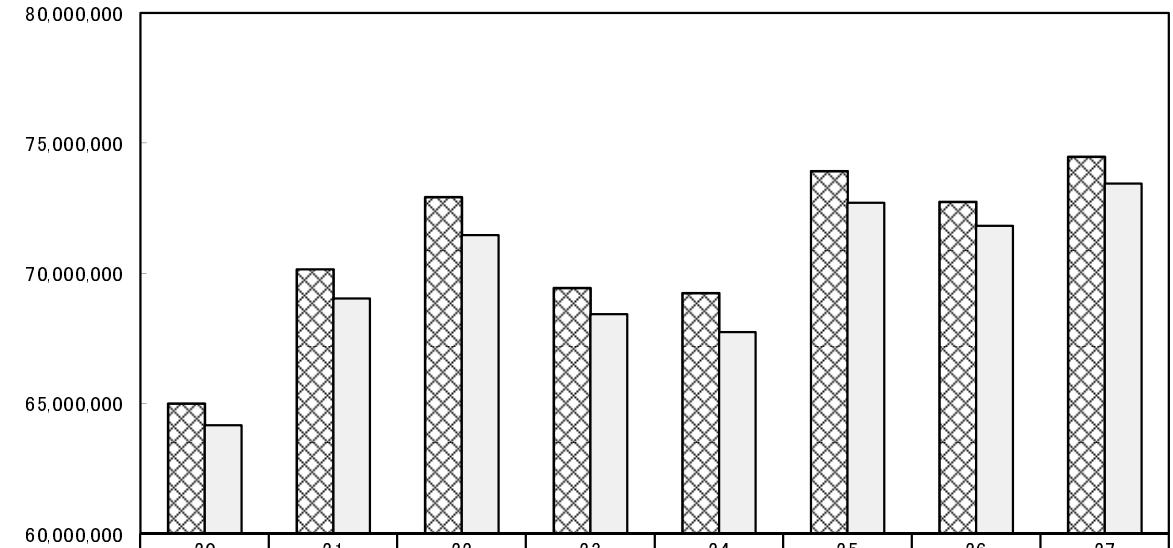
	歳入決算額（a）	歳出決算額（b）	歳入歳出差引額（c）＝（a）－（b）	翌年度に繰り越すべき財源（d）	実質収支（e）＝（c）－（d）
平成２７年度	74,476,232	73,453,627	1,022,605	429,374	593,231
平成２６年度	72,747,650	71,829,965	917,685	618,963	298,722
増減額	1,728,582	1,623,662	104,920	△ 189,589	294,509
増減率（％）	2.4	2.3	11.4	△ 30.6	98.6

（参考）借換債を除く決算額の状況　（単位：千円）

	歳入決算額	歳出決算額	借換債
平成２７年度	74,476,232	73,453,627	0
平成２６年度	72,747,650	71,829,965	0
増減額	1,728,582	1,623,662	0
増減率（％）	2.4	2.3	0.0

一般会計歳入歳出決算額の推移

（単位：千円）



	20	21	22	23	24	25	26	27
歳入決算額	64,991,791	70,160,835	72,925,040	69,440,666	69,250,905	73,931,350	72,747,650	74,476,232
歳出決算額	64,154,234	69,036,458	71,475,785	68,440,403	67,745,780	72,708,337	71,829,965	73,453,627

年度

２　歳入決算の状況

(1)　総　括

歳入決算総額は前年度と比較して２．４％の増となりました。その主な要因は、地方消費税交付金や国庫支出金、県支出金等が増となったためです。

歳入決算額一覧表　　（単位：千円）

科目	区分	H２７決算額（a）	構成比％	H２６決算額（b）	構成比％	増減額（a）－（b）	増減率％
1	市税	35,047,794	47.1	35,269,087	48.5	△ 221,293	△ 0.6
2	地方譲与税	430,822	0.6	409,336	0.6	21,486	5.2
3	利子割交付金	107,959	0.1	121,997	0.2	△ 14,038	△ 11.5
4	配当割交付金	347,949	0.5	450,690	0.6	△ 102,741	△ 22.8
5	株式等譲渡所得割交付金	342,973	0.5	245,357	0.3	97,616	39.8
6	地方消費税交付金	3,565,189	4.8	2,066,547	2.8	1,498,642	72.5
7	ゴルフ場利用税交付金	187,240	0.3	186,317	0.3	923	0.5
8	自動車取得税交付金	118,797	0.2	71,873	0.1	46,924	65.3
9	国有提供施設等所在市町村助成交付金	20,995	0.0	21,407	0.0	△ 412	△ 1.9
10	地方特例交付金	154,513	0.2	163,296	0.2	△ 8,783	△ 5.4
11	地方交付税	4,192,357	5.6	4,270,581	5.9	△ 78,224	△ 1.8
12	交通安全対策特別交付金	31,059	0.0	29,890	0.1	1,169	3.9
13	分担金及び負担金	1,053,953	1.4	1,199,098	1.6	△ 145,145	△ 12.1
14	使用料及び手数料	2,230,697	3.0	1,961,225	2.7	269,472	13.7
15	国庫支出金	12,070,572	16.2	10,620,224	14.6	1,450,348	13.7
16	県支出金	4,948,473	6.6	4,449,853	6.1	498,620	11.2
17	財産収入	293,243	0.4	352,965	0.5	△ 59,722	△ 16.9
18	寄附金	669,661	0.9	578,232	0.8	91,429	15.8
19	繰入金	1,363,918	1.8	1,754,177	2.4	△ 390,259	△ 22.2
20	繰越金	917,685	1.2	1,223,013	1.7	△ 305,328	△ 25.0
21	諸収入	1,111,824	1.5	1,538,160	2.1	△ 426,336	△ 27.7
22	市債	5,268,559	7.1	5,764,325	7.9	△ 495,766	△ 8.6
合計		74,476,232	100.0	72,747,650	100.0	1,728,582	2.4

＜地方特例交付金＞

恒久的な減税に伴う地方税の減収額の一部を補てんするために交付されるもので、個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の実施に伴う減収額を補てんするために交付されます。

(2)　財源の性質別分類

自主財源は使用料及び手数料並びに寄附金は増となりましたが、市税、分担金及び負担金、繰入金の減等により、前年度と比較して２．７％の減となりました。また、依存財源は、配当割交付金、市債等は減となりましたが、地方消費税交付金や国庫支出金の増等により１０．１％の増となりました。

歳入性質別決算額一覧表　（単位：千円）

科目	区分	H27決算額 (a)	構成比 %	H26決算額 (b)	構成比 %	増減額 (a)－(b)	増減率 %
自主財源	市税	35,047,794	47.1	35,269,087	48.5	△ 221,293	△ 0.6
	分担金及び負担金	1,053,953	1.4	1,199,098	1.6	△ 145,145	△ 12.1
	使用料及び手数料	2,230,697	3.0	1,961,225	2.7	269,472	13.7
	財産収入	293,243	0.4	352,965	0.5	△ 59,722	△ 16.9
	寄附金	669,661	0.9	578,232	0.8	91,429	15.8
	繰入金	1,363,918	1.8	1,754,177	2.4	△ 390,259	△ 22.2
	繰越金	917,685	1.2	1,223,013	1.7	△ 305,328	△ 25.0
	諸収入	1,111,824	1.5	1,538,160	2.1	△ 426,336	△ 27.7
	小　　計	42,688,775	57.3	43,875,957	60.3	△ 1,187,182	△ 2.7
依存財源	地方譲与税	430,822	0.6	409,336	0.6	21,486	5.2
	利子割交付金	107,959	0.1	121,997	0.2	△ 14,038	△ 11.5
	配当割交付金	347,949	0.5	450,690	0.6	△ 102,741	△ 22.8
	株式等譲渡所得割交付金	342,973	0.5	245,357	0.3	97,616	39.8
	地方消費税交付金	3,565,189	4.8	2,066,547	2.8	1,498,642	72.5
	ゴルフ場利用税交付金	187,240	0.3	186,317	0.3	923	0.5
	自動車取得税交付金	118,797	0.2	71,873	0.1	46,924	65.3
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	20,995	0.0	21,407	0.0	△ 412	△ 1.9
	地方特例交付金	154,513	0.2	163,296	0.2	△ 8,783	△ 5.4
	地方交付税	4,192,357	5.6	4,270,581	5.9	△ 78,224	△ 1.8
	交通安全対策特別交付金	31,059	0.0	29,890	0.1	1,169	3.9
	国庫支出金	12,070,572	16.2	10,620,224	14.6	1,450,348	13.7
	県支出金	4,948,473	6.6	4,449,853	6.1	498,620	11.2
	市債	5,268,559	7.1	5,764,325	7.9	△ 495,766	△ 8.6
	小　　計	31,787,457	42.7	28,871,693	39.7	2,915,764	10.1
合　　計		74,476,232	100.0	72,747,650	100.0	1,728,582	2.4

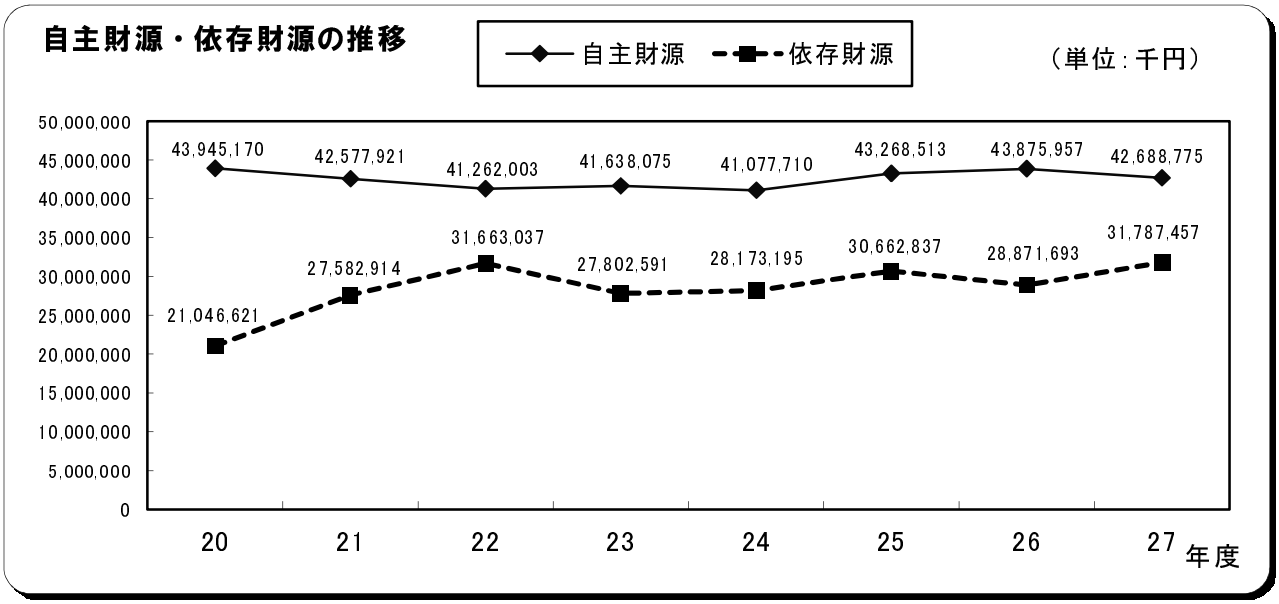
＜自主財源＞

自治体が自主的に収入し得る財源であり、この数値が大きいほどその団体の財政運営の自主性と安定性が確保されています。

＜依存財源＞

国・県の意思により交付されたり、割り当てや配分されたりするものです。

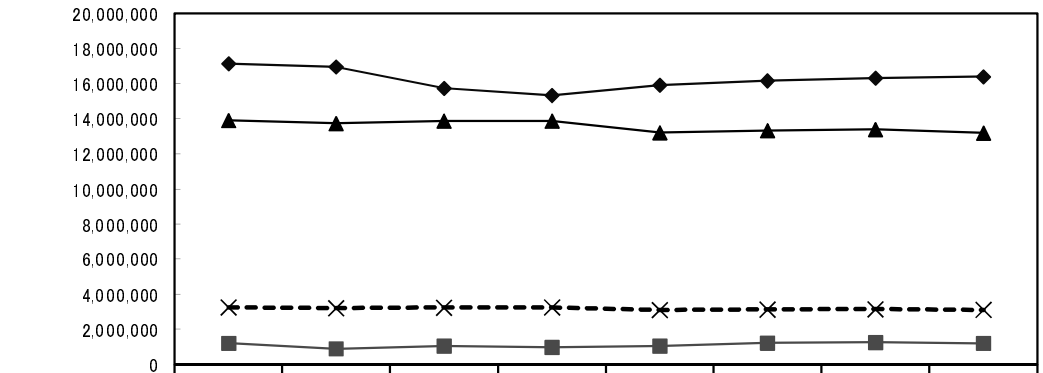
自主財源・依存財源の推移



(3)　市税の状況

個人市民税は前年度と比較して0．5%の増、法人市民税は4．7%の減、固定資産税は1．6%の減、都市計画税は1．3%の減となりました。

主な税目の推移　（単位：千円）



	20	21	22	23	24	25	26	27
個人市民税	17,145,800	16,954,879	15,742,878	15,341,400	15,921,576	16,176,444	16,320,381	16,408,988
法人市民税	1,207,254	886,774	1,045,289	975,581	1,048,874	1,225,584	1,255,168	1,196,682
固定資産税	13,904,913	13,739,138	13,882,266	13,870,451	13,209,581	13,330,061	13,404,224	13,197,001
都市計画税	3,243,464	3,207,557	3,239,120	3,242,253	3,100,636	3,132,544	3,147,247	3,107,184

年度

(4)　地方交付税の状況

普通交付税は、3，962万1千円、率にして1．0%の減となりました。また、特別交付税は、3，860万3千円、率にして8．6%の減となりました。

（単位：千円）

区　　分	H27決算額 (a)	構成比 %	H26決算額 (b)	構成比 %	増減額 (a)－(b)	増減率 %
普通交付税	3,781,586	90.2	3,821,207	89.5	△ 39,621	△ 1.0
特別交付税	410,771	9.8	449,374	10.5	△ 38,603	△ 8.6
合計①	4,192,357	100.0	4,270,581	100.0	△ 78,224	△ 1.8
臨時財政対策債②	3,395,859		3,542,025		△ 146,166	△ 4.1
①＋②	7,588,216		7,812,606		△ 224,390	△ 2.9

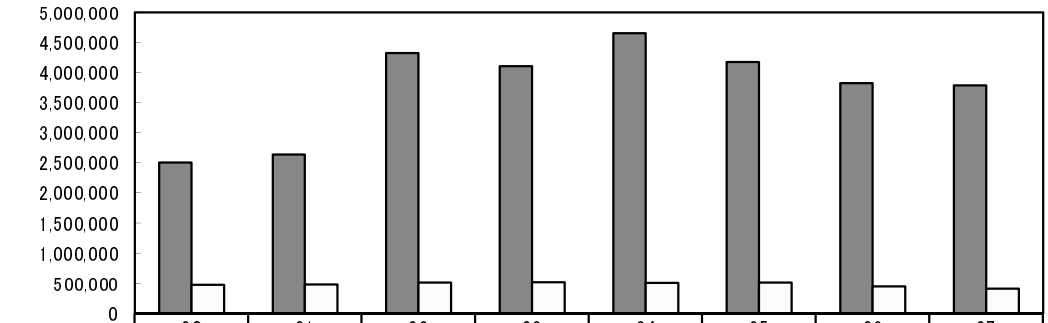
＜普通交付税＞

標準的な団体規模をモデルに、その通常必要な支出額のうち一般財源の必要額（基準財政需要額）と、その団体が通常確保する税収入額等（基準財政収入額）を算定し、その収入不足額について交付されます。

＜特別交付税＞

普通交付税に反映することができなかった災害や渇水などの臨時的に発生した経費など具体的な特別事情などを考慮して交付されます。

地方交付税の推移　（単位：千円）



	20	21	22	23	24	25	26	27
普通交付税	2,502,205	2,635,427	4,321,803	4,099,681	4,651,785	4,171,810	3,821,207	3,781,586
特別交付税	474,628	484,335	512,541	516,932	507,014	513,264	449,374	410,771

年度

(5)　市債の状況

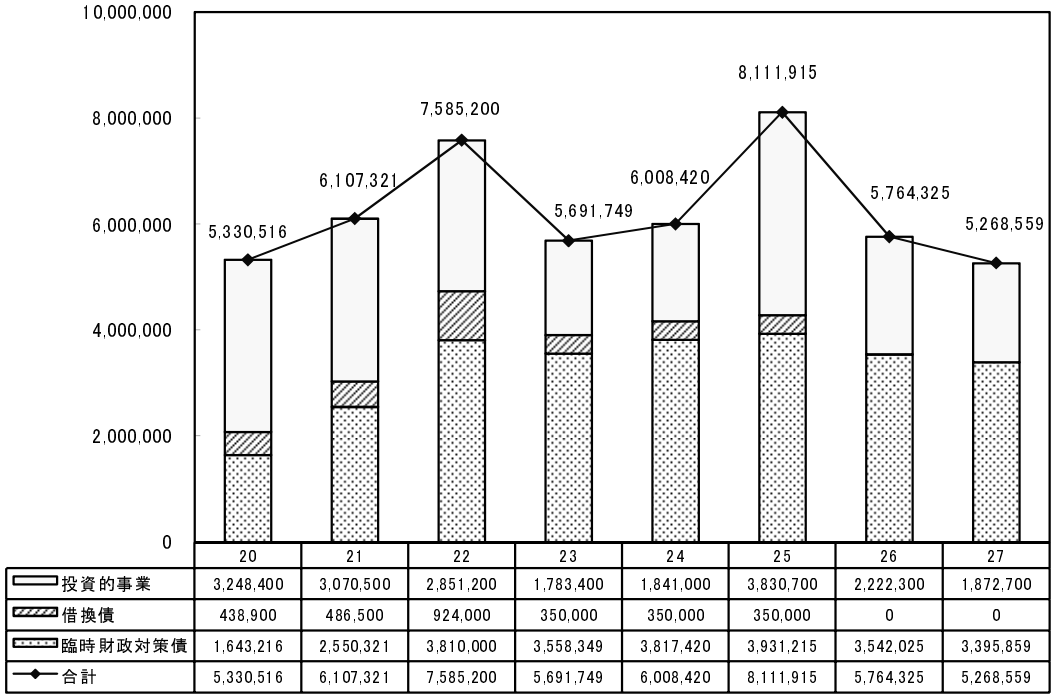
臨時財政対策債及び投資的事業にかかる市債の減により、前年度と比較して８．６%の減となりました。

（単位：千円）

区　　分		H27決算額 (a)	H26決算額 (a)	増減額 (a)－(b)	増減率 %
市債		5,268,559	5,764,325	△ 495,766	△ 8.6
	臨時財政対策債	3,395,859	3,542,025	△ 146,166	△ 4.1
	借換債	0	0	0	－
	投資的事業にかかるもの	1,872,700	2,222,300	△ 349,600	△ 15.7

市債発行額の推移

（単位：千円）



	20	21	22	23	24	25	26	27
投資的事業	3,248,400	3,070,500	2,851,200	1,783,400	1,841,000	3,830,700	2,222,300	1,872,700
借換債	438,900	486,500	924,000	350,000	350,000	350,000	0	0
臨時財政対策債	1,643,216	2,550,321	3,810,000	3,558,349	3,817,420	3,931,215	3,542,025	3,395,859
合計	5,330,516	6,107,321	7,585,200	5,691,749	6,008,420	8,111,915	5,764,325	5,268,559

年度

＜臨時財政対策債＞

地方財源の不足を補てんするため、投資的経費以外の経費にも充てられる地方財政法第５条の特例として発行される地方債です。

※臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額を後年度において地方交付税の基準財政需要額に算入されることとなっています。

＜借換債＞

起債の同意期間に対して、短期の地方債を発行した場合、満期日に全額償還するのではなく、一部を新たな地方債の発行により、実質的に借換するものです。

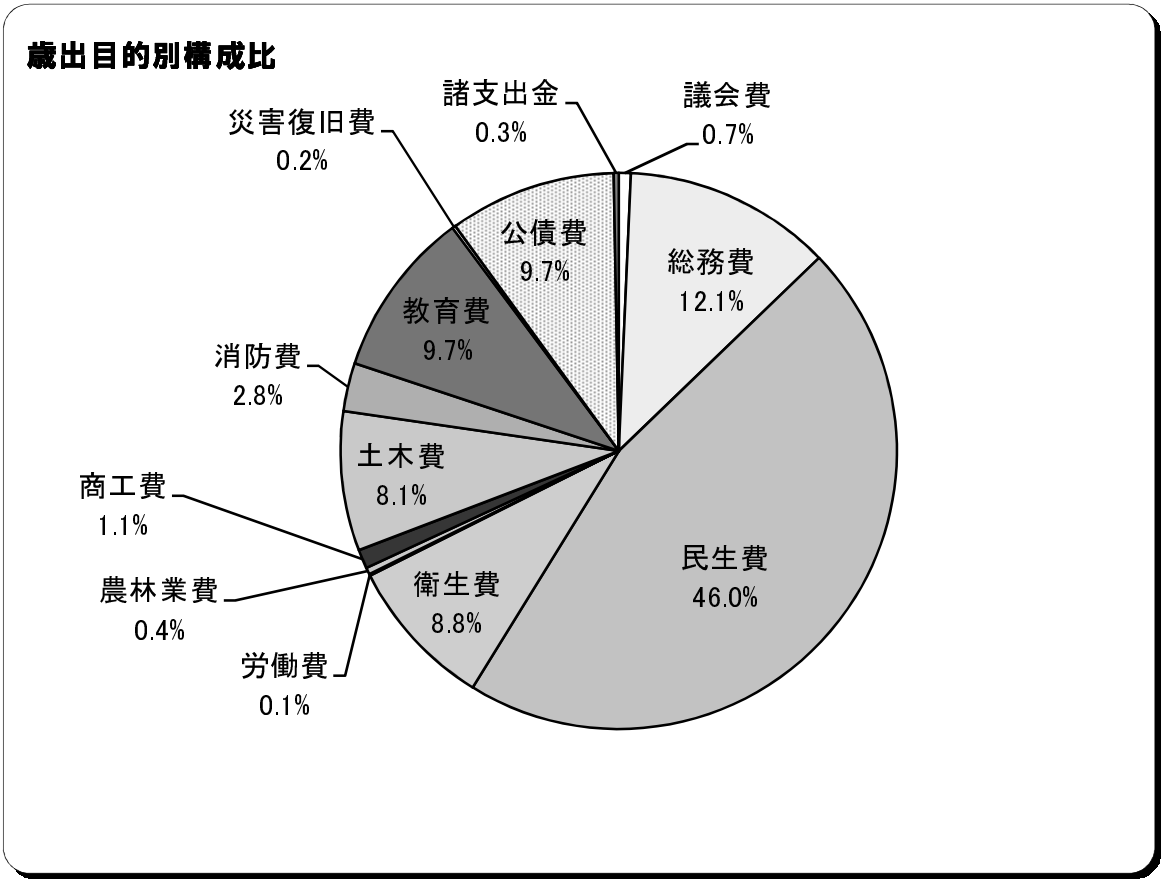
３　歳出決算の状況

(1)　総　括

歳出決算総額は前年度と比較して２．３%の増となりました。その主な要因は、宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用検討事業等による総務費の増や、私立保育所関連経費や自立支援事業等による民生費の増、地域消費喚起･生活支援事業による商工費の増などによるものです。

（単位:千円）

区　　分	H27決算額 (a)	構成比 %	H26決算額 (b)	構成比 %	増減額 (a)－(b)	増減率 %
議会費	510,022	0.7	488,321	0.7	21,701	4.4
総務費	8,872,791	12.1	7,463,106	10.4	1,409,685	18.9
民生費	33,782,358	46.0	31,713,840	44.1	2,068,518	6.5
衛生費	6,461,300	8.8	6,308,089	8.8	153,211	2.4
労働費	77,203	0.1	83,887	0.1	△ 6,684	△ 8.0
農林業費	277,826	0.4	223,675	0.3	54,151	24.2
商工費	853,436	1.1	638,249	0.9	215,187	33.7
土木費	5,935,093	8.1	6,146,569	8.5	△ 211,476	△ 3.4
消防費	2,105,622	2.8	2,352,536	3.3	△ 246,914	△ 10.5
教育費	7,111,312	9.7	7,315,800	10.2	△ 204,488	△ 2.8
災害復旧費	132,230	0.2	163,639	0.2	△ 31,409	0.0
公債費	7,111,550	9.7	8,242,466	11.5	△ 1,130,916	△ 13.7
諸支出金	222,884	0.3	689,788	1.0	△ 466,904	△ 67.7
合　　計	73,453,627	100.0	71,829,965	100.0	1,623,662	2.3



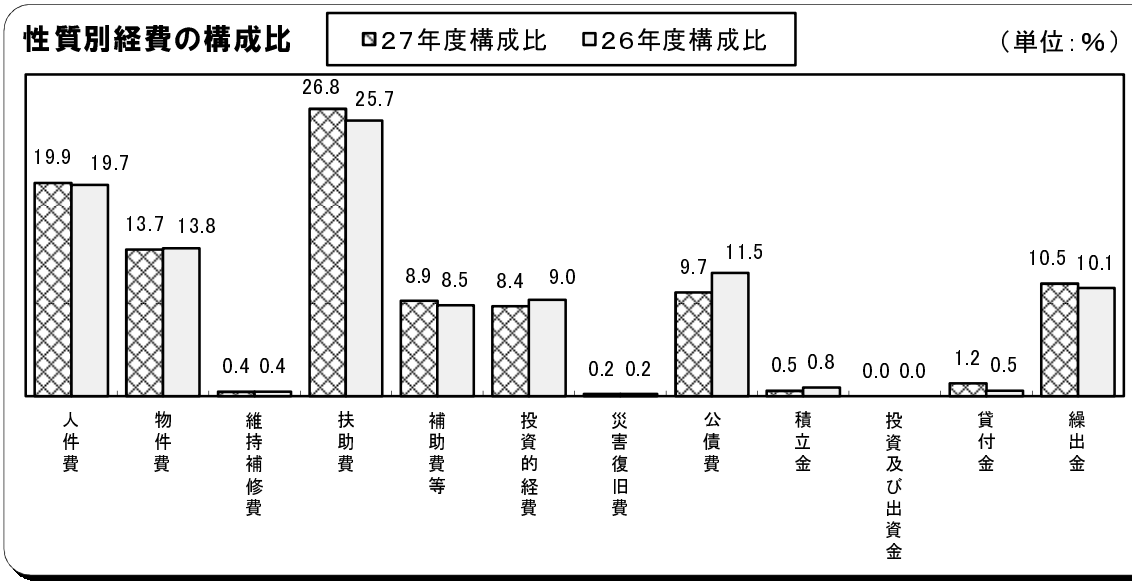
(2)　歳出の性質別分類

歳出性質別分類の前年度比較による主な増減理由は、人件費は職員給与等の増、扶助費は自立支援事業、私立保育所保育実施事業等の増、補助費等は地域消費喚起･生活支援事業等による増、貸付金は病院事業会計貸付金による増、繰出金は特別会計国民健康保険事業費繰出金等の増、投資的経費は都市計画道路荒地西山線整備事業等の減、公債費は近年の新規発行債抑制や借入金利が低利になったことによる減となっています。

（単位：千円）

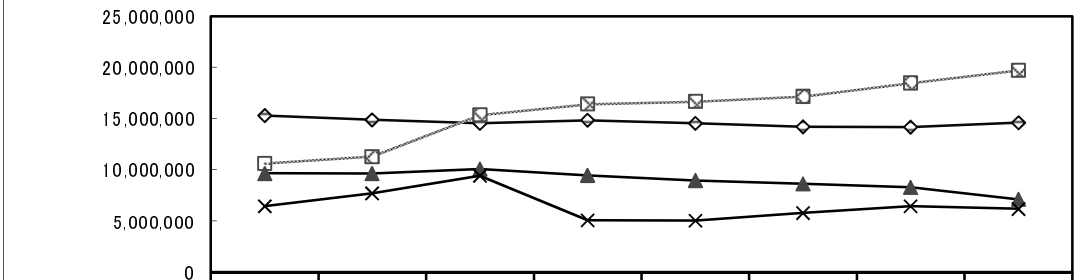
区　　分	H27決算額 (a)	構成比 %	H26決算額 (b)	構成比 %	増減額 (a)－(b)	増減率 %
人件費	14,581,366	19.9	14,160,778	19.7	420,588	3.0
物件費	10,078,868	13.7	9,932,292	13.8	146,576	1.5
維持補修費	284,106	0.4	314,707	0.4	△ 30,601	△ 9.7
扶助費	19,707,057	26.8	18,469,187	25.7	1,237,870	6.7
補助費等	6,507,843	8.9	6,087,134	8.5	420,709	6.9
投資的経費	6,185,271	8.4	6,440,664	9.0	△ 255,393	△ 4.0
うち災害復旧費	132,229	0.2	164,373	0.2	△ 32,144	△ 19.6
公債費	7,111,354	9.7	8,281,667	11.5	△ 1,170,313	△ 14.1
積立金	361,225	0.5	557,774	0.8	△ 196,549	△ 35.2
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	－
貸付金	905,123	1.2	337,325	0.5	567,798	168.3
繰出金	7,731,414	10.5	7,248,437	10.1	482,977	6.7
合　　計	73,453,627	100.0	71,829,965	100.0	1,623,662	2.3

性質別経費の構成比



義務的経費と投資的経費の推移

（単位：千円）



	20	21	22	23	24	25	26	27
人件費	15,286,110	14,877,569	14,523,762	14,829,623	14,528,731	14,199,195	14,160,778	14,581,366
扶助費	10,626,130	11,287,136	15,355,538	16,426,042	16,669,285	17,160,797	18,469,187	19,707,057
公債費	9,647,283	9,626,289	10,066,077	9,450,916	8,947,931	8,638,064	8,281,667	7,111,354
投資的経費	6,454,404	7,698,592	9,412,376	5,056,700	5,043,494	5,790,906	6,440,664	6,185,271

義務的経費　　年度

４　債務負担行為の状況（主なもの）

物件の購入等に係るもの

（単位：千円）

項　　目	債務負担行為限度額	H26年度以前の支出額	H27年度支出額	H28年度以降の支出予定額
防災公園街区整備事業	6,107,000	5,185,825	67,813	542,504
売布再開発、公共・公益床等取得	3,849,399	2,227,536	165,565	1,412,049
仁川再開発、公共・公益床等取得	1,695,177	818,567	73,339	803,270
仁川再開発、駐車場床等取得	120,919	51,297	5,236	62,988
NTN株式会社宝塚製作所跡地取得	2,870,000	0	73,598	2,796,402
宝塚ガーデンフィールズ跡地取得事業（文化施設等整備事業）	773,240	0	637,092	62,115
一般市道新設改良事業	1,573,652	0	72,600	314,366
都市計画道路荒地西山線整備事業(小林工区)	615,250	97,991	192,660	200,000
都市計画道路山手幹線整備事業	2,088,000	0	0	354,616
都市計画道路中筋山本線整備事業	4,053,700	0	0	338,406
都市計画道路競馬場高丸線整備事業	158,000	0	0	151,980
(仮称)大堀川公園整備事業	166,013	0	0	121,946
新老人福祉センター・大型児童センター取得事業	1,594,626	510,933	42,578	1,021,863
宝塚駅前駐車場用地借上料	1,717,916	681,594	34,543	1,001,779
ごみ焼却施設集中監視制御装置借上料	565,250	78,716	37,784	261,337
基幹系システム更新	2,958,012	199,851	23,931	6,027
住民基本台帳システム借上料	570,000	18,924	113,543	435,246
ファイルサーバ機器更新事業	60,890	0	8,925	50,575
サーバ統合化基盤構築事業	300,000	0	0	268,830
山手地域内バス購入費助成金	43,704	29,136	14,568	0
健康管理システム更新事業	83,721	0	0	51,458
市道１５０９号線（桃堂峠）改良工事費	183,180	0	146,933	36,247
中央公民館建設工事費	1,600,000	0	57,837	1,319,110
長尾中学校屋内運動場改築事業	383,786	0	0	383,786

債務保証または損失補償に係るもの

（単位：千円）

項　　目	債務負担行為限度額	H26年度以前の支出額	H27年度支出額	H28年度以降の支出予定額
宝塚市土地開発公社事業資金に係る債務保証	11,984,425	0	0	0
兵庫県信用保証協会が保証したあっせん融資に係る損失補償	328,000	149,917	0	0
社会福祉法人阪神福祉事業団の借入金に係る損失補償	127,565	0	0	0

その他

（単位：千円）

項　　目	債務負担行為限度額	H26年度以前の支出額	H27年度支出額	H28年度以降の支出予定額
平成26年8月豪雨災害対策被災者生活復興資金貸付金利子補給分担金	1,500	0	500	1,000
知的障害者居住施設建設資金	170,000	122,332	2,887	8,484
知的障害者通所施設建設資金	33,883	18,319	1,627	12,937
身体障害者通所施設改築資金	70,461	32,738	3,188	27,372
花屋敷栄光園建設資金	907,178	652,042	28,091	82,643
西谷ｼﾆｱｺﾐｭﾆﾃｨ建設資金	578,220	411,061	19,294	0
愛和苑建設等資金(保育所・児童館)	559,972	89,488	5,454	20,864
愛和苑建設等資金(特養)		271,163	16,545	63,310
バラホーム保育所建設資金	367,555	208,956	4,014	2
あひる保育園増改築資金	278,405	232,261	6,070	5,972
やまぼうし保育園建設資金	193,470	90,783	5,782	22,765
御殿山児童館建設資金	39,688	24,086	1,967	13,470
御殿山あゆみ保育園建設資金	83,719	51,809	4,205	26,608

（単位：千円）

項　　目	債務負担行為限度額	H26年度以前の支出額	H27年度支出額	H28年度以降の支出予定額
社会福祉法人宝塚ひよこ福祉会の宝塚ひよこ保育園建設資金償還金補助事業	15,508	5,512	800	7,499
第2ブロック児童館建設資金償還金補助事業	41,143	11,075	2,030	23,856
第2ブロック保育所建設資金償還金補助事業	21,095	5,690	1,041	12,221
はなみずき保育園建設資金償還金補助事業	22,798	4,060	1,278	17,253
阪神北広域こども急病センター整備における借入金の償還に係る経費	協定に基づく金額を負担するものとする。	16,880	4,274	68,074
阪神北広域こども急病センター改修設計委託における借入金の償還に係る経費	協定に基づく金額を負担するものとする。	0	1	902
阪神北広域こども急病センター改修における借入金の償還に係る経費	協定に基づく金額を負担するものとする。	0	0	1,436
男女共同参画センター指定管理料	245,000	144,930	46,348	53,375
中山台コミュニティセンター指定管理料	58,501	0	0	57,695
地域利用施設光明会館、南口会館、美座会館、雲雀丘倶楽部、御殿山会館、高松会館及び末成集会所指定管理料	17,692	0	0	17,256
地域利用施設西谷会館、西谷児童館並びに西谷サービスセンター及び農業振興施設の共用部に係る指定管理料	141,891	0	0	78,125
共同利用施設長尾南会館、安倉会館、小浜会館、福井会館、小林会館、鹿塩会館、中筋会館、高司会館、美幸会館、山本台会館、売布会館、川面会館、松ガ丘会館、泉町会館、旭町会館、仁川会館、伊孑志会館、御所の前会館、米谷会館、亀井会館、安倉西会館、山本野里会館、山本会館及び中山寺会館指定管理料	28,277	0	0	27,805
住民票の写し等コンビニ交付事業	50,925	0	0	39,155
文化施設及び文化創造館（宝塚音楽学校旧校舎）指定管理料	1,142,746	214,512	209,304	718,930
国際・文化センター指定管理料	235,479	92,198	41,495	101,786
身体障害者支援センター及び安倉児童館指定管理料	1,082,567	426,989	228,028	427,550
総合福祉センター指定管理料	196,361	0	0	196,361
老人福祉センター及び大型児童センター指定管理料	431,343	0	0	431,343
高司児童館指定管理料	98,330	39,183	19,627	39,254
山本山手子ども館、ひばり子ども館及び中山台子ども館指定管理料	110,000	0	22,000	88,000
勤労市民センター及び末広駐車場指定管理料	12,815	0	1,955	10,860
農業振興施設指定管理料	7,141	0	0	7,141
宝塚園芸振興センター指定管理料	67,871	0	0	67,871
長谷牡丹園指定管理料	27,199	0	0	27,199
市営住宅指定管理料	815,855	161,083	140,868	483,249
スポーツ施設指定管理料	580,011	103,630	98,822	377,559
花屋敷グラウンド指定管理料	36,000	6,300	14,410	15,290
自転車等駐車場、武田尾駅前駐車場及び宝塚駅前駐車場指定管理料	1,055,000	638,135	219,299	197,566
市民税賦課収納システム更新事業	1,260,804	0	0	784,975
焼却炉運転業務委託料	881,215	245,786	124,624	249,289
プラスチック類選別等処理業務委託料	486,000	0	0	383,292
スポーツセンターESCOサービス料	156,090	50,850	10,402	90,431
学校給食費公会計化事業	81,265	0	0	76,390
小学校プール開放事業監視員業務委託料	10,000	0	0	10,000

５　繰越事業について（平成２８年度への繰越事業）

継続費

（単位：円）

事業名	会計	款	項	予算現額	翌年度繰越額	左の財源内訳					
						既収入特定財源	未収入特定財源				一般財源
							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
財産管理事業（市庁舎給排水衛生設備改修）	一般	２　総務費	１　総務管理費	94,125,000	94,125,000	0	0	0	70,500,000	0	23,625,000
継続費逓次繰越　合計　①					94,125,000	0	0	0	70,500,000	0	23,625,000

＜継続費＞

履行に数年度を要するものについて、予算の定めるところにより、その経費の総額及び年割額を定め、数年度にわたって支出することができる経費。

繰越明許費

（単位：円）

事業名	会計	款	項	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳					
						既収入特定財源	未収入特定財源				一般財源
							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
財政事務事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	4,819,000	4,818,392	0	0	0	0	0	4,818,392
情報ネットワークシステム管理事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	49,800,000	48,072,000	0	22,200,000	0	22,200,000	0	3,672,000
財産管理事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	48,990,000	48,990,000	0	0	0	44,000,000	0	4,990,000
新名神高速道路利活用等地域活性化推進事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	11,070,000	11,070,000	0	10,556,000	0	0	0	514,000
NTN株式会社宝塚製作所跡地利活用検討事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	4,000,000	4,000,000	0	0	0	0	0	4,000,000
花屋敷グラウンド周辺整備事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	3,000,000	3,000,000	0	0	0	0	0	3,000,000
北部振興企画事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	1,500,000	1,500,000	0	1,430,000	0	0	0	70,000
バス交通対策事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	4,000,000	4,000,000	0	3,814,000	0	0	0	186,000
くらんど人権文化センター整備事業	一般	２　総務費	１　総務管理費	9,424,000	9,424,000	0	0	0	0	0	9,424,000
自立支援事業	一般	３　民生費	１　社会福祉費	33,000,000	25,632,240	0	2,594,000	0	0	0	23,038,240
臨時福祉給付金等給付事業	一般	３　民生費	１　社会福祉費	51,788,000	51,538,000	0	51,788,000	0	0	0	△ 250,000
自然休養村運営事業	一般	６　農林業費	１　農林業費	1,850,000	1,850,000	0	1,764,000	0	0	0	86,000
長谷牡丹園管理運営事業	一般	６　農林業費	１　農林業費	6,000,000	6,000,000	0	5,722,000	0	0	0	278,000
ダリアで彩る花のまちづくり事業	一般	６　農林業費	１　農林業費	6,000,000	6,000,000	0	5,721,000	0	0	0	279,000
観光農業施設等駐車場整備事業	一般	６　農林業費	１　農林業費	4,000,000	4,000,000	0	3,814,000	0	0	0	186,000
商工振興事業	一般	７　商工費	１　商工費	8,500,000	8,500,000	0	8,105,000	0	0	0	395,000
新事業創出総合支援事業	一般	７　商工費	１　商工費	3,000,000	3,000,000	0	2,861,000	0	0	0	139,000
宝塚ブランド発信事業	一般	７　商工費	１　商工費	1,000,000	1,000,000	0	954,000	0	0	0	46,000
観光振興・宣伝事業	一般	７　商工費	１　商工費	27,198,000	25,198,000	0	24,028,000	0	0	0	1,170,000
宝塚魅力体験事業	一般	７　商工費	１　商工費	648,000	648,000	0	618,000	0	0	0	30,000
海外誘客事業	一般	７　商工費	１　商工費	1,330,000	1,330,000	0	1,268,000	0	0	0	62,000
（仮称）宝塚北スマートインターチェンジ整備事業	一般	８　土木費	２　道路橋りょう費	148,610,000	146,945,120	0	42,748,000	0	31,400,000	0	72,797,120
都市計画道路・幹線市道連携計画策定事業	一般	８　土木費	２　道路橋りょう費	6,992,000	6,991,960	0	0	0	0	0	6,991,960
都市計画道路競馬場高丸線整備事業	一般	８　土木費	２　道路橋りょう費	7,288,000	7,287,840	0	0	0	0	0	7,287,840
道路維持事業	一般	８　土木費	２　道路橋りょう費	74,919,000	46,884,920	0	14,218,000	0	18,300,000	0	14,366,920
一般市道新設改良事業	一般	８　土木費	２　道路橋りょう費	189,405,000	187,521,760	0	58,201,000	0	106,300,000	0	23,020,760
橋りょう維持事業	一般	８　土木費	２　道路橋りょう費	76,780,000	56,321,200	0	27,368,000	0	22,800,000	0	6,153,200

（単位：円）

事業名	会計	款	項	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳					
						既収入特定財源	未収入特定財源				一般財源
							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
普通河川治水事業	一般	8 土木費	3 河川費	15,617,000	12,777,075	0	0	0	5,700,000	0	7,077,075
荒神川都市基盤河川改修事業	一般	8 土木費	3 河川費	25,410,000	19,320,000	0	3,598,000	3,598,000	8,600,000	0	3,524,000
北部地域まちづくり基本構想策定事業	一般	8 土木費	4 都市計画費	5,000,000	5,000,000	0	4,768,000	0	0	0	232,000
都市計画道路荒地西山線整備事業（小林工区）	一般	8 土木費	4 都市計画費	216,176,000	213,453,000	0	87,906,500	0	0	0	125,546,500
既設公園整備事業	一般	8 土木費	4 都市計画費	15,621,000	13,891,800	0	4,974,520	0	2,200,000	0	6,717,280
消防車両整備事業	一般	9 消防費	1 消防費	34,120,000	34,120,000	20,000,000	0	0	10,500,000	0	3,620,000
小学校施設整備事業	一般	10 教育費	2 小学校費	479,280,000	308,459,000	0	48,575,000	0	259,500,000	0	384,000
中学校施設整備事業	一般	10 教育費	3 中学校費	254,495,000	120,345,000	0	24,542,000	0	95,700,000	0	103,000
長尾中学校屋内運動場改築事業	一般	10 教育費	3 中学校費	14,256,000	13,924,680	0	0	0	0	0	13,924,680
中央公民館整備事業	一般	10 教育費	6 社会教育費	34,110,000	34,110,000	0	9,315,000	0	12,500,000	0	12,295,000
宝塚自然の家利活用推進事業	一般	10 教育費	6 社会教育費	4,800,000	4,800,000	0	4,577,000	0	0	0	223,000
繰越明許費 合計 ②					1,501,723,987	20,000,000	478,028,020	3,598,000	639,700,000	0	360,397,967

＜繰越明許費＞

予算成立後の事由により、当該年度内にその支出が終わらない見込みのものについて、予算の定めるところにより翌年度に限り、繰り越して使用することができる経費。

事故繰越し

（単位：円）

事業名	会計	款	項	支出負担行為額	翌年度繰越額	左の財源内訳					
						既収入特定財源	未収入特定財源				一般財源
							国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
私立保育所誘致整備事業	一般	3 民生費	3 児童福祉費	300,804,000	125,038,000	0	111,145,000	0	0	0	13,893,000
生活保護適正実施推進事業	一般	3 民生費	4 生活保護費	5,292,000	2,592,000	0	1,114,000	0	0	0	1,478,000
一般市道新設改良事業	一般	8 土木費	2 道路橋りょう費	45,447,252	21,064,741	0	0	0	18,500,000	0	2,564,741
農林施設災害復旧事業	一般	11 災害復旧費	1 農林施設災害復旧費	57,112,400	17,082,040	0	0	7,451,084	4,700,000	0	4,930,956
河川等施設災害復旧事業	一般	11 災害復旧費	2 公共土木施設災害復旧費	2,484,000	2,484,000	0	0	0	0	0	2,484,000
事故繰越し 合計 ③					168,260,781	0	112,259,000	7,451,084	23,200,000	0	25,350,697
総合計 ① + ② + ③					1,764,109,768	20,000,000	590,287,020	11,049,084	733,400,000	0	409,373,664

＜事故繰越し＞

年度内に契約をし、避けがたい事故のため、年度内に支出が終わらなかったものを翌年度に繰り越して執行すること。

（参考）　都市計画税、入湯税充当の状況

（単位：千円）

都市計画税充当事業	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
平成27年度事業	2,339,006	683,101	657,100	192,849	805,956
街路事業	393,160	117,057	78,000	44,358	153,745
県施行都市計画道路等整備負担金事業（宝塚平井線・尼崎宝塚線）	112,058	0	0	0	112,058
都市計画道路荒地西山線	281,102	117,057	78,000	44,358	41,687
公園事業	1,518,579	566,044	575,800	148,491	228,244
末広中央公園用地償還金	67,813	0	0	0	67,813
宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用検討事業	1,450,766	566,044	575,800	148,491	160,431
下水道事業	396,353	0	0	0	396,353
公共下水道事業（繰出相当分）	396,353	0	0	0	396,353
土地区画整理事業	30,914	0	3,300	0	27,614
中筋JR北区画整理事業	30,914	0	3,300	0	27,614
地方債償還金	2,442,766	0	0	0	2,442,766
土木債（街路）	323,601	0	0	0	323,601
土木債（公園）	282,050	0	0	0	282,050
土木債（区画）	179,105	0	0	0	179,105
土木債（再開発）	277,482	0	0	0	277,482
下水道事業債（繰出相当分）	1,380,528	0	0	0	1,380,528
合　　計	4,781,772	683,101	657,100	192,849	3,248,722

平成27年度都市計画税収入額は、3,107,184千円。

（単位：千円）

入湯税充当事業	事業費	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
環境衛生施設の整備	2,316	0	2,000	0	316
消防施設等の整備	7,441	0	0	2,700	4,741
観光振興	41,977	0	0	0	41,977
合　　計	51,734	0	2,000	2,700	47,034

平成27年度入湯税収入額は、11,387千円。

（参考）社会保障財源交付金充当の状況

（歳入）

社会保障財源交付金　1,659,723 千円

（歳出）

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費　40,913,649 千円

（単位：千円）

事業区分		経費	財源内訳					一般財源計
			特定財源			一般財源		
			国県支出金	地方債	その他	社会保障財源交付金	その他	
1	総合福祉	2,673,318	17,731	0	7,490	216,797	2,431,300	2,648,097
2	医療	9,196,319	1,474,927	0	215,497	614,499	6,891,396	7,505,895
3	介護・高齢者福祉	8,301,891	5,625,357	0	18,335	217,624	2,440,575	2,658,199
4	子ども・子育て	10,886,927	5,138,629	41,700	1,208,287	368,272	4,130,039	4,498,311
5	障害者福祉	5,250,255	3,228,046	0	172,730	151,415	1,698,064	1,849,479
6	就労促進	0	0	0	0	0	0	0
7	貧困・格差対策等	4,604,939	3,491,983	0	0	91,116	1,021,840	1,112,956
合　計		40,913,649	18,976,673	41,700	1,622,339	1,659,723	18,613,214	20,272,937

（参考）　緊急防災・減災事業債を活用した事業

（単位：千円）

事　業　名	事業費	財源内訳	
		地方債	一般財源
小学校施設耐震化事業	37,657	30,300	7,357
中学校施設耐震化事業	2,397	2,300	97
合　　計	40,054	32,600	7,454

*事業費等については緊急防災・減災事業債適用分のみ抜粋

Ⅲ　健全化判断比率の状況

１　健全化判断比率等について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、地方公共団体が、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の４つの健全化判断比率を算定・公表することとされ、その１つでも早期健全化基準、財政再生基準を上回った場合は、それぞれ「財政健全化計画」、「財政再生計画」の策定が義務付けられ、早期に財政状況を是正することが求められます。

また、公営企業についても、資金不足比率を算定・公表することとされ、その比率が経営健全化基準を上回った公営企業は、「経営健全化計画」の策定が義務付けられています。

健全化判断比率等は、平成２０年度決算から基準以上となった団体に対する計画策定の義務付けが適用されています。

＜実質赤字比率＞

標準財政規模（毎年安定して得ることのできる収入）に対する一般会計等の赤字の比率。

＜連結実質赤字比率＞

全会計の実質赤字等の標準財政規模に対する比率。

＜実質公債費比率＞

市債の償還額に公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを加えたものと標準財政規模との割合であり、普通交付税の算定基礎となる基準財政需要額に算入されるものを除いて算出した過去３年間の平均の比率。比率が高いほど収入の多くを地方債返済に使うことになり、地方債協議制度の下で、１８％以上の団体は、地方債の発行に際し許可が必要となります。

＜将来負担比率＞

公営企業、出資法人等を含めた一般会計等の実質的な負債の標準財政規模に対する比率。

＜公営企業における資金不足比率＞

公営企業ごとの資金の不足額の事業の規模に対する比率。

○各指標の算式

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額}}{\text{標準財政規模}}$$

$$\text{実質公債費比率（3か年平均）} = \frac{\text{（地方債の元利償還金＋準元利償還金）－（特定財源＋元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}}{\text{標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}}$$

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額－（充当可能基金額＋特定財源見込額＋地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額）}}{\text{標準財政規模－（元利償還金・準元金償還金に係る基準財政需要額算入額）}}$$

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足の額}}{\text{事業の規模}}$$

２　健全化判断比率等の算定結果（速報値）について

（単位：%）

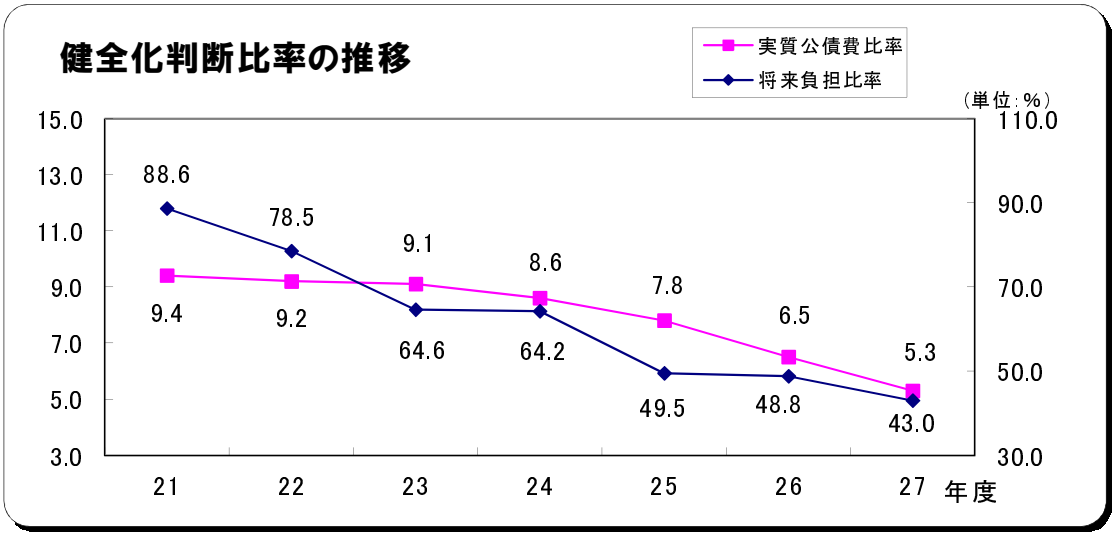
		平成27年度決算（速報値）	早期健全化基準（経営健全化基準）	財政再生基準
1　実質赤字比率		－	11.38	20.00
2　連結実質赤字比率		－	16.38	30.00
3　実質公債費比率		5.3	25.0	35.0
4　将来負担比率		43.0	350.0	
5　公営企業における資金不足比率	水道	－	20.0	
	下水道	－	20.0	
	病院	2.7	20.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率並びに水道事業会計及び下水道事業会計における資金不足比率は、赤字及び資金不足がないため「－」と表示しています。

３　健全化判断比率の近隣市の状況

（単位：%）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
宝　塚　市	－	－	5.3	43.0
尼　崎　市	－	－	13.8	122.5
西　宮　市	－	－	4.7	33.9
伊　丹　市	－	－	8.4	14.3
芦　屋　市	－	－	5.5	121.6
川　西　市	－	－	12.2	113.8
三　田　市	－	－	8.9	2.1



Ⅳ　普通会計決算の状況

１　市債と基金の状況

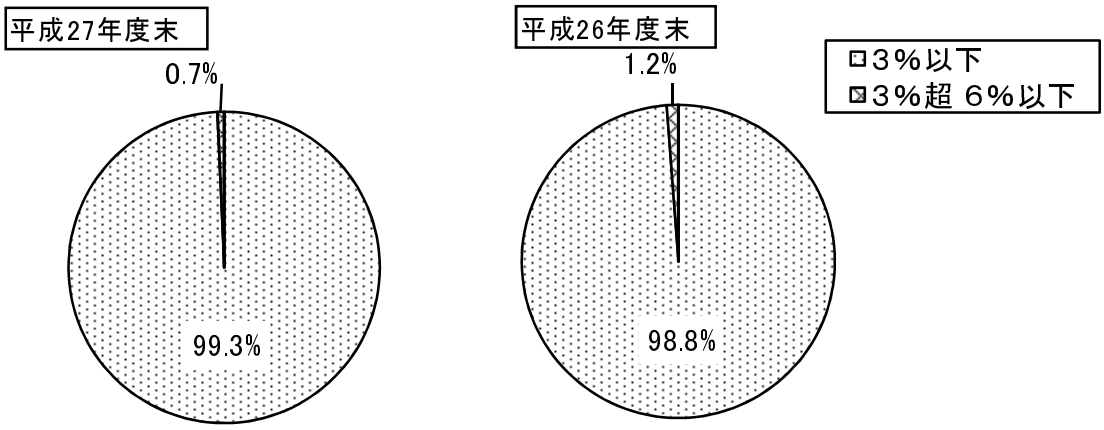
(1)　市債残高の状況

市の借金にあたる市債は、財政上の収入と支出との年度間調整や住民負担の世代間の公平を確保するための調整を目的に発行するものです。その市債残高については、震災関連事業の影響もあり、平成11年度末の約968億円が過去最高となり、以降徐々に減少傾向にあり平成27年度は、前年度より7．4億円減少し約736．7億円となりました。市民一人当たりの残高は約31万5千円となっています。また、利率では3%超の残高の構成比が減っています。

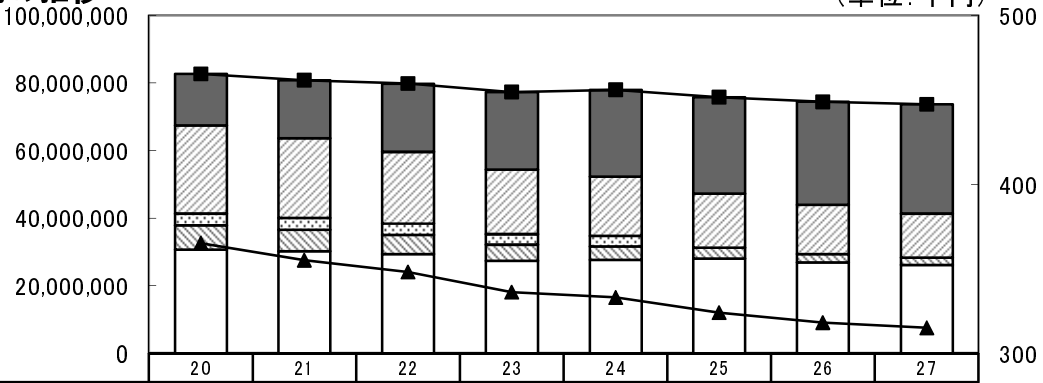
平成２７年度末借入先別利率別市債残高　（単位：千円、%）

	3%以下（A）		3%超（B）		残高合計
	残　高	構成比	残　高	構成比	（A＋B）
財務省	30,259,634	41.4	44,597	8.1	30,304,231
旧日本郵政公社	12,011,462	16.4	507,357	91.9	12,518,819
地方公共団体金融機構	14,939,960	20.5	0	0.0	14,939,960
市中銀行	14,060,865	19.2	0	0.0	14,060,865
職員共済組合等	451,376	0.6	0	0.0	451,376
その他	1,392,340	1.9	0	0.0	1,392,340
合　　計	73,115,637	100.0	551,954	100.0	73,667,591

利率別市債残高の構成比



市債残高の推移　（単位：千円）



	20	21	22	23	24	25	26	27
臨時財政対策債	15,193,001	17,099,142	20,154,465	22,837,061	25,664,879	28,518,231	30,484,273	32,287,443
震災関連事業債	26,081,180	23,604,602	21,220,666	19,205,850	17,651,138	16,103,024	14,596,597	13,115,888
公共用地先行取得債	3,596,695	3,530,853	3,465,011	3,117,169	3,051,327	0	0	0
減税補てん債	7,140,952	6,373,250	5,585,697	4,788,612	3,980,615	3,162,801	2,468,714	2,125,509
その他の地方債	30,632,868	30,184,486	29,357,625	27,326,501	27,609,033	27,998,976	26,859,782	26,138,751
市債残高	82,644,696	80,792,333	79,783,464	77,275,193	77,956,992	75,783,032	74,409,366	73,667,591
１人当たり市債残高	365	355	348	336	333	324	318	315

(2)　基金の状況

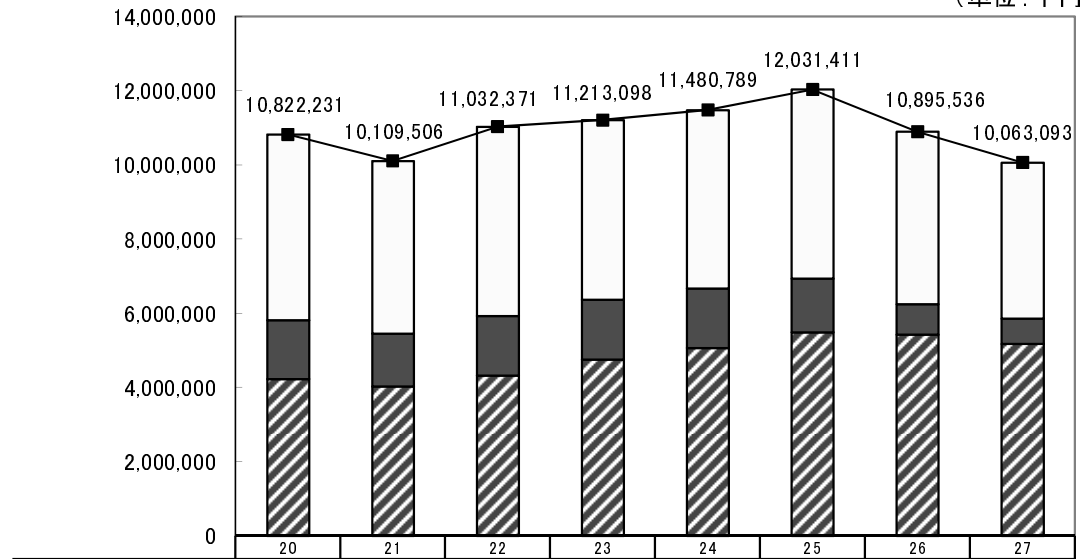
家庭では、将来のために備え、「貯金」を行いますが、市でも同じように「基金」という貯金を行い将来の需要に備えています。

平成２７年度末基金残高の状況　　（単位：千円）

区分		H27年度末残高　(A)	構成比	H26年度末残高　(B)	構成比%	増減 (A)－(B)	増減率%	基金類型
積立基金（普通会計）	財政調整基金	5,179,767	49.0	5,427,506	47.6	△ 247,739	△ 4.6	取崩し型
	市債管理基金	681,590	6.5	825,245	7.2	△ 143,655	△ 17.4	取崩し型
	福祉基金	42,735	0.4	41,886	0.4	849	2.0	取崩し型
	公共施設等整備保全基金	964,556	9.1	1,163,471	10.2	△ 198,915	△ 17.1	取崩し型
	都市開発基金	7,300	0.1	7,286	0.1	14	0.2	取崩し型
	長寿社会福祉基金	340,090	3.2	435,000	3.8	△ 94,910	△ 21.8	取崩し型
	交通災害遺児激励基金	18,887	0.2	18,917	0.2	△ 30	△ 0.2	取崩し型
	地域福祉活動振興基金	145,028	1.4	152,293	1.3	△ 7,265	△ 4.8	取崩し型
	緑化基金	332,159	3.1	332,836	2.9	△ 677	△ 0.2	取崩し型
	暴力団対策基金	46,901	0.4	47,413	0.4	△ 512	△ 1.1	取崩し型
	再生可能エネルギー基金	25,142	0.2	26,411	0.2	△ 1,269	△ 4.8	取崩し型
	新ごみ処理施設建設基金	928,584	8.8	842,532	7.4	86,052	10.2	取崩し型
	松本・土井アイリン海外留学助成基金	48,485	0.5	57,375	0.5	△ 8,890	△ 15.5	取崩し型
	職員能力開発基金	39,207	0.4	39,631	0.4	△ 424	△ 1.1	取崩し型
	子ども未来基金	629,978	6.0	925,835	8.1	△ 295,857	△ 32.0	取崩し型
	ふるさとまちづくり基金	86,687	0.8	11,009	0.1	75,678	687.4	取崩し型
	平和基金	1,971	0.0	1,967	0.0	4	0.2	果実運用型
	養護老人ホーム福寿荘特別扶助基金	2,157	0.0	2,410	0.0	△ 253	△ 10.5	取崩し型
	霊園管理基金	478,069	4.5	502,813	4.4	△ 24,744	△ 4.9	取崩し型
	奨学基金	63,800	0.6	33,700	0.3	30,100	89.3	取崩し型
	小　計	10,063,093	95.2	10,895,536	95.5	△ 832,443	△ 7.6	
定額運用基金	土地開発基金	500,000	4.7	500,000	4.4	0	0.0	定額運用基金
	援護資金貸付基金	7,348	0.1	7,348	0.1	0	0.0	定額運用基金
	小　計	507,348	4.8	507,348	4.5	0	0.0	
合　計		10,570,441	100.0	11,402,884	100.0	△ 832,443	△ 7.3	

※果実運用型は、基金から生じた利子を利用して事業を行っているものです。

平成２７年度末積立基金残高の状況（普通会計）　　（単位：千円）



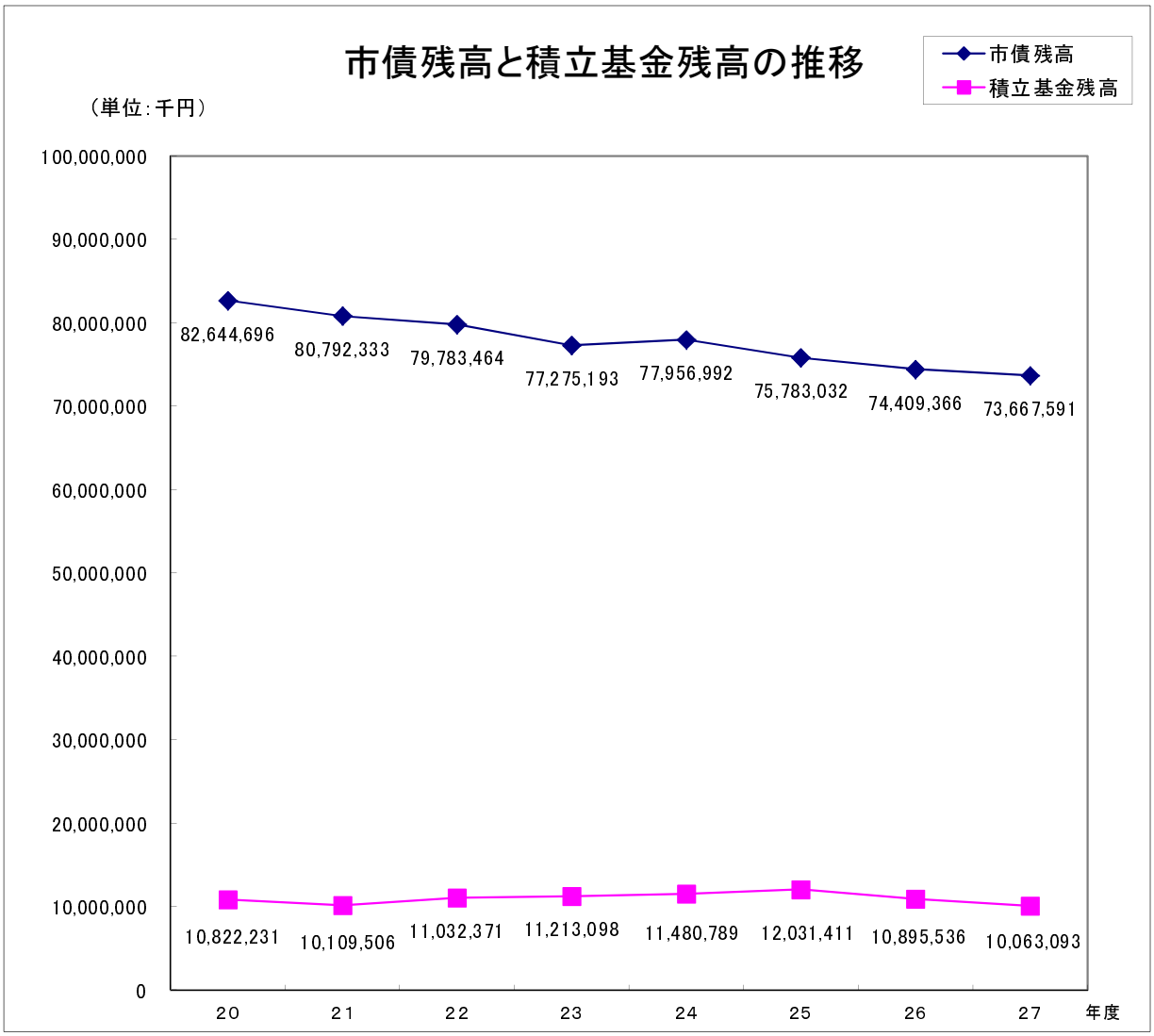
	20	21	22	23	24	25	26	27
その他特定目的基金	5,005,511	4,650,794	5,095,753	4,848,753	4,806,551	5,089,802	4,642,785	4,201,736
市債管理基金	1,581,266	1,437,740	1,604,648	1,606,222	1,607,504	1,447,767	825,245	681,590
財政調整基金	4,235,454	4,020,972	4,331,970	4,758,123	5,066,734	5,493,842	5,427,506	5,179,767
積立基金合計	10,822,231	10,109,506	11,032,371	11,213,098	11,480,789	12,031,411	10,895,536	10,063,093

年度

(3)　市債残高と積立基金残高の推移

（単位：千円）

年　度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市債残高	82,644,696	80,792,333	79,783,464	77,275,193	77,956,992	75,783,032	74,409,366	73,667,591
積立基金残高	10,822,231	10,109,506	11,032,371	11,213,098	11,480,789	12,031,411	10,895,536	10,063,093



２　経常収支比率

前年度と同率でした。その主な要因は、株式等譲渡所得割交付金や地方消費税交付金、諸収入等が増となったが、経常経費充当一般財源において扶助費、補助費等、繰出金等が増となったためです。

平成２７年度の経常収支比率
43,460,599（経常経費充当一般財源）÷｛41,715,807（経常一般財源収入）+3,395,859（臨時財政対策債）｝
×100＝**96.3**

経常収支比率の状況

経常一般財源収入

（単位：千円）

区　　分	H27決算額（A）	構成比％	H26決算額（B）	構成比％	増減（A）－（B）	増減率％
市税	31,940,610	70.8	32,121,840	73.3	△ 181,230	△ 0.6
地方譲与税	430,822	1.0	409,336	0.9	21,486	5.2
利子割交付金	107,959	0.2	121,997	0.3	△ 14,038	△ 11.5
配当割交付金	347,949	0.8	450,690	1.0	△ 102,741	△ 22.8
株式等譲渡所得割交付金	342,973	0.8	245,357	0.6	97,616	39.8
地方消費税交付金	3,565,189	7.9	2,066,547	4.7	1,498,642	72.5
ゴルフ場利用税交付金	187,240	0.4	186,317	0.4	923	0.5
自動車取得税交付金	118,797	0.3	71,873	0.2	46,924	65.3
国有提供施設等所在市町村助成交付金	20,995	0.0	21,407	0.0	△ 412	△ 1.9
地方特例交付金	154,513	0.3	163,296	0.4	△ 8,783	△ 5.4
地方交付税	3,781,586	8.4	3,821,207	8.7	△ 39,621	△ 1.0
交通安全対策特別交付金	31,059	0.1	29,890	0.1	1,169	3.9
使用料	408,635	0.9	403,190	0.9	5,445	1.4
財産収入	178,577	0.4	184,044	0.4	△ 5,467	△ 3.0
諸収入	98,903	0.2	10,958	0.0	87,945	802.6
小　　計	41,715,807	92.5	40,307,949	91.9	1,407,858	3.5
臨時財政対策債	3,395,859	7.5	3,542,025	8.1	△ 146,166	△ 4.1
合　　計	45,111,666	100.0	43,849,974	100.0	1,261,692	2.9

経常経費充当一般財源

（単位：千円）

区　　分	H27決算額（A）	構成比％	H26決算額（B）	構成比％	増減（A）－（B）	増減率％
人件費	13,143,355	30.2	12,870,616	30.5	272,739	2.1
物件費	6,746,269	15.5	6,513,211	15.4	233,058	3.6
維持補修費	257,771	0.6	299,137	0.7	△ 41,366	△ 13.8
扶助費	6,294,894	14.5	5,960,305	14.1	334,589	5.6
補助費等	5,169,646	11.9	4,222,683	10.0	946,963	22.4
公債費	6,543,792	15.1	7,338,742	17.4	△ 794,950	△ 10.8
投資及び出資・貸付金	4,661	0.0	0	0.0	4,661	皆増
繰出金	5,300,211	12.2	5,021,017	11.9	279,194	5.6
合　　計	43,460,599	100.0	42,225,711	100.0	1,234,888	2.9

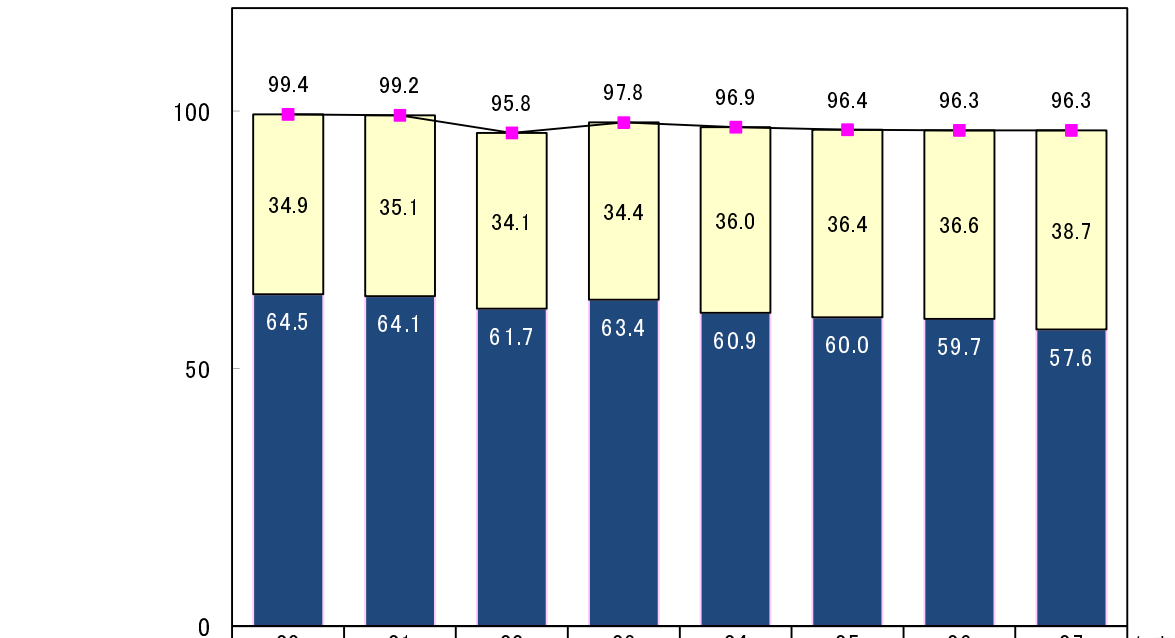
経常収支比率　　（単位：%）

年　　度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経常収支比率	99.4	99.2	95.8	97.8	96.9	96.4	96.3	96.3
※	103.5	105.7	105.0	106.6	106.3	105.8	104.8	104.2

※下段の数値は、減税補てん債及び臨時財政対策債を除いた数値。

経常収支比率の推移

（単位：%）



年度	20	21	22	23	24	25	26	27
義務的経費以外	34.9	35.1	34.1	34.4	36.0	36.4	36.6	38.7
義務的経費	64.5	64.1	61.7	63.4	60.9	60.0	59.7	57.6
経常収支比率	99.4	99.2	95.8	97.8	96.9	96.4	96.3	96.3

＜経常収支比率＞

財政構造の弾力性を測定する比率で、人件費・扶助費・公債費等の義務的性格の経常経費充当一般財源に市税、地方交付税、地方譲与税等の経常一般財源収入（毎年経常的に収入される財源のうち、その使途が特定されておらず自由に使える収入のこと。）及び臨時財政対策債がどの程度使われているかをみるものです。
比率が小さいほど臨時の財政需要に充当できる財源が大きくなり財政構造が弾力的であるといえます。

経常収支比率＝経常経費充当一般財源/（経常一般財源収入＋臨時財政対策債）*100

＜普通会計＞

個々の地方公共団体で、一般会計の範囲が異なっており、財政比較や統一的な掌握が困難なため、地方財政統計上、用いられる会計区分です。一般会計と特別会計の一部を合わせて普通会計としています。
本市の場合、特別会計宝塚すみれ墓苑事業費が含まれるなど、一般会計決算とは若干の違いがあります。

（参考）第三セクターの経営状況等について

（単位：千円）

法　人　名	業務内容	出資の状況		設立年	法人の経営状況			貸　借　対　照　表			補助金交付額
		総　　額	うち市の出資		経常収益	経常費用	経常利益（損失）	資産合計	負債合計	資本（または正味財産）	
宝塚市スポーツ振興公社	スポーツセンターの維持管理及びスポーツの振興	302,000	302,000	昭和62年	390,381	385,041	5,340	393,669	69,154	324,515	0
ソリオ宝塚都市開発（株）	再開発ビル及び駐車場の運営管理	1,851,500	915,000	平成4年	741,875	592,893	148,982	3,728,701	1,080,223	2,648,478	0
宝塚市文化財団	文化施設の管理運営、文化振興事業の実施	401,491	401,491	平成6年	300,620	301,769	△ 1,149	560,440	49,758	510,682	0
宝塚市保健福祉サービス公社	介護老人保健施設の管理運営	300,000	300,000	平成7年	1,188,189	1,179,471	8,718	687,548	143,919	543,629	0
宝塚都市環境サービス（株）	し尿収集運搬業務	30,000	30,000	平成8年	46,505	39,376	7,129	56,353	4,366	51,987	0
宝塚山本ガーデン・クリエイティブ（株）	花卉植木等販売等	50,000	25,500	平成11年	228,655	221,722	6,933	134,172	39,737	94,435	0
（株）エフエム宝塚	コミュニティ放送局	80,000	40,000	平成12年	78,230	77,913	317	89,578	4,133	85,445	0
宝塚市土地開発公社	公有地等の土地の取得処分	5,000	5,000	昭和48年	848,968	816,570	32,398	5,895,418	5,543,069	352,349	8,412
逆瀬川都市開発（株）	再開発ビル及び駐車場の運営管理	246,000	30,000	昭和60年	206,654	197,607	9,047	590,222	279,591	310,631	0
阪神北広域救急医療財団	小児救急医療施設の管理運営	101,000	33,049	平成19年	436,511	436,483	28	248,645	93,842	154,803	3,795

（参考）平成２７年度 水道事業会計決算の概要

1 業務量

項　　目	平成２７年度	平成２６年度	増　　減	前年比
行政区域内人口	233,877 人	233,776 人	101 人	100.0 %
年度末給水人口	234,228 人	234,129 人	99 人	100.0 %
年度末給水戸数	102,224 戸	101,441 戸	783 戸	100.8 %
年間総配水量	24,297,282 ㎥	24,356,206 ㎥	△ 58,924 ㎥	99.8 %
一日最大配水量	72,445 ㎥	73,617 ㎥	△ 1,172 ㎥	98.4 %
一日平均配水量	66,386 ㎥	66,729 ㎥	△ 343 ㎥	99.5 %
一人一日平均配水量	283.4 ﾘｯﾄﾙ	285.0 ﾘｯﾄﾙ	△ 1.6 ﾘｯﾄﾙ	99.4 %
年間有収水量	23,224,552 ㎥	23,240,036 ㎥	△ 15,484 ㎥	99.9 %
一人一日平均有収水量	271.7 ﾘｯﾄﾙ	271.9 ﾘｯﾄﾙ	△ 0.3 ﾘｯﾄﾙ	99.9 %
有収率	95.6 %	95.4 %	0.2 ﾎﾟｲﾝﾄ	－

2 収益的収入及び支出（損益計算書/税抜）

（単位:千円）

項　　目		平成２７年度	平成２６年度	増　　減	前年比(%)
収益	営業収益	3,676,621	3,690,306	△ 13,685	99.6
	(給水収益)	(3,510,963)	(3,517,056)	(△ 6,093)	(99.8)
	(その他)	(165,658)	(173,250)	(△ 7,592)	(95.6)
	営業外収益	739,086	680,646	58,440	108.6
	(分担金)	(243,096)	(174,351)	(68,745)	(139.4)
	(長期前受金戻入)	(452,293)	(458,820)	(△ 6,527)	(98.6)
	(その他)	(43,697)	(47,475)	(△ 3,778)	(92.0)
	特別利益	3,073	15,862	△ 12,789	19.4
	計	4,418,780	4,386,814	31,966	100.7
費用	営業費用	4,031,177	3,933,715	97,462	102.5
	(人件費)	(850,023)	(822,652)	(27,371)	(103.3)
	(物件費等)	(1,253,957)	(1,191,043)	(62,914)	(105.3)
	(受水費)	(635,582)	(613,130)	(22,452)	(103.7)
	(減価償却費)	(1,291,615)	(1,306,890)	(△ 15,275)	(98.8)
	営業外費用	209,932	214,498	△ 4,566	97.9
	(支払利息)	(209,501)	(212,680)	(△ 3,179)	(98.5)
	(その他)	(431)	(1,818)	(△ 1,387)	(23.7)
	特別損失	2,028	1,959,176	△ 1,957,148	0.1
	計	4,243,137	6,107,389	△ 1,864,252	69.5
当年度純利益		175,643	△ 1,720,575	1,896,218	△ 10.2
繰越未処分利益剰余金		1,441,829	1,268,145		
その他未処分利益剰余金変動額		0	10,222,900		
未処分利益剰余金		1,617,472	9,770,470		
利益処分額(案)		0	△ 8,328,641		

3 資本的収入及び支出　（税込）

（単位:千円）

項　　目		平成２７年度	平成２６年度	増　　減	前年比(%)
収入	企業債	376,100	499,700	△ 123,600	75.3
	（配水管整備事業）	（ 16,300）	（ 295,100）	（ △ 278,800）	（ 5.5）
	（送・配水施設整備事業）	（ 97,800）	（ 72,900）	（ 24,900）	（ 134.2）
	（導水施設整備事業）	（ 0）	（ 78,100）	（ △ 78,100）	（ 皆減）
	（耐震化工事）	（ 188,200）	（ 53,600）	（ 134,600）	（ 351.1）
	（阪神水道受水整備事業）	（ 73,800）	（ 0）	（ 73,800）	（ 皆増）
	固定資産売却代	745	11,437	（ △ 10,692）	（ 6.5）
	工事負担金	109,801	29,773	80,028	368.8
	投資有価証券等償還金	0	800,000	△ 800,000	皆減
	その他	5,278	10,047	△ 4,769	52.5
	計	491,924	1,350,957	△ 859,033	36.4
支出	建設改良費	1,303,043	931,124	371,919	139.9
	（原水及び浄水施設整備事業）	（ 83,657）	（ 112,889）	（ △ 29,232）	（ 74.1）
	（送水及び配水施設整備事業）	（ 522,341）	（ 710,087）	（ △ 187,746）	（ 73.6）
	（阪神水道受水整備事業）	（ 554,187）	（ 0）	（ 554,187）	（ 皆増）
	（営業設備費）	（ 49,075）	（ 34,511）	（ 14,564）	（ 142.2）
	（事務費）	（ 93,783）	（ 73,637）	（ 20,146）	（ 127.4）
	企業債償還金	403,489	379,355	24,134	106.4
	投資	892,000	2,400,000	△ 1,508,000	37.2
	計	2,598,532	3,710,479	△ 1,111,947	70.0
資本的収支不足額		2,106,608	2,359,522	△ 252,914	89.3
補填財源	損益勘定留保資金	2,026,921	2,300,922		
	消費税資本的収支調整額	79,687	58,600		

4 資金収支（内部留保資金の状況）

（単位:千円）

項　　目	平成２７年度	平成２６年度	増　　減	前年比(%)
前年度末余剰額	4,605,281	5,956,674	△ 1,351,393	77.3
当年度発生額	1,234,148	1,008,129	226,019	122.4
当年度使用額	2,106,607	2,359,522	△ 252,915	89.3
当年度末余剰額	3,732,822	4,605,281	△ 872,459	81.1

5 給水原価と供給単価（1m^{3}当たり）

（単位:円）

項　　目	平成２７年度	平成２６年度	増　　減	前年比(%)
給水原価	162.4	157.8	4.6	102.9
供給単価	151.2	151.3	△ 0.1	99.9
差　　引	△ 11.2	△ 6.5	△ 4.7	－

（参考）平成２７年度 下水道事業会計決算の概要

1 業務量

項　　目	平成２７年度	平成２６年度	増　　減	前年比
供用開始区域内人口	230,876 人	230,651 人	225 人	100.1 %
供用開始区域内世帯	100,770 戸	99,975 戸	795 戸	100.8 %
水洗化人口	228,607 人	228,312 人	295 人	100.1 %
水洗化世帯数	99,779 戸	98,967 戸	812 戸	100.8 %
年間総処理水量	26,810,245 m^3	26,265,987 m^3	544,258 m^3	102.1 %
年間有収水量	23,214,690 m^3	23,215,588 m^3	△ 898 m^3	100.0 %
有収率	86.6 %	88.4 %	△1.8 ポイント	－

2 収益的収入及び支出 （損益計算書/税抜）

（単位:千円）

項　　目		平成２７年度	平成２６年度	増　　減	前年比(%)
収益	**営業収益**	**2,701,401**	**2,721,701**	**△ 20,300**	**99.3**
	（ 下水道使用料 ）	（ 1,884,460 ）	（ 1,887,492 ）	（ △ 3,032 ）	（ 99.8 ）
	（ 雨水処理負担金 ）	（ 700,560 ）	（ 723,184 ）	（ △ 22,624 ）	（ 96.9 ）
	（ 他会計負担金 ）	（ 114,563 ）	（ 108,790 ）	（ 5,773 ）	（ 105.3 ）
	（ その他 ）	（ 1,818 ）	（ 2,235 ）	（ △ 417 ）	（ 81.3 ）
	営業外収益	**1,444,142**	**1,488,646**	**△ 44,504**	**97.0**
	（ 受取利息及び配当金 ）	（ 94 ）	（ 108 ）	（ △ 14 ）	（ 87.0 ）
	（ 国庫補助金 ）	（ 276 ）	（ 229 ）	（ 47 ）	（ 120.5 ）
	（ 他会計補助金 ）	（ 737,567 ）	（ 785,474 ）	（ △ 47,907 ）	（ 93.9 ）
	（ 長期前受金戻入 ）	（ 701,790 ）	（ 698,104 ）	（ 3,686 ）	（ 100.5 ）
	（ その他 ）	（ 4,415 ）	（ 4,731 ）	（ △ 316 ）	（ 93.3 ）
	特別利益	**16,347**	**39,683**	（ **△ 23,336** ）	（ **41.2** ）
	収　益　合　計	**4,161,890**	**4,250,030**	**△ 88,140**	**97.9**
費用	**営業費用**	**3,324,280**	**3,363,936**	**△ 39,656**	**98.8**
	（ 人件費 ）	（ 148,647 ）	（ 163,959 ）	（ △ 15,312 ）	（ 90.7 ）
	（ 物件費等 ）	（ 365,916 ）	（ 404,160 ）	（ △ 38,244 ）	（ 90.5 ）
	（ 流域下水道維持管理費負担金 ）	（ 678,105 ）	（ 670,836 ）	（ 7,269 ）	（ 101.1 ）
	（ 減価償却費 ）	（ 2,131,612 ）	（ 2,124,981 ）	（ 6,631 ）	（ 100.3 ）
	営業外費用	**679,290**	**732,794**	**△ 53,504**	**92.7**
	（ 支払利息 ）	（ 644,742 ）	（ 702,681 ）	（ △ 57,939 ）	（ 91.8 ）
	（ その他 ）	（ 34,548 ）	（ 30,113 ）	（ 4,435 ）	（ 114.7 ）
	特別損失	**383**	**446,205**	**△ 445,822**	**0.1**
	費　用　合　計	**4,003,953**	**4,542,935**	**△ 538,982**	**88.1**
当年度純利益		**157,937**	**△ 292,905**	**450,842**	**－**
繰越未処分利益剰余金		0	△ 1,378,222		
その他未処分利益剰余金変動額		0	3,073,547		
未処分利益剰余金		157,937	1,402,420		
利益処分額（案）		0	△ 1,402,420		

3 資本的収入及び支出

（税込）　　（単位：千円）

項目		平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比(%)
収入	企業債	1,171,700	1,194,200	△ 22,500	98.1
	（公共下水道企業債）	（ 128,700 ）	（ 98,200 ）	（ 30,500 ）	（ 131.1 ）
	（流域下水道企業債）	（ 44,300 ）	（ 61,000 ）	（ △ 16,700 ）	（ 72.6 ）
	（資本費平準化債）	（ 998,700 ）	（ 1,035,000 ）	（ △ 36,300 ）	（ 96.5 ）
	国庫補助金	34,550	31,825	2,725	108.6
	他会計負担金	232,139	213,166	18,973	108.9
	工事負担金	3,985	5,699	△ 1,714	69.9
	水洗便所改造資金貸付金回収金	158	75	83	210.7
	固定資産売却代金	3,121	1,290	1,831	241.9
	収入合計	1,445,653	1,446,255	△ 602	100.0
支出	建設改良費	352,113	313,844	38,269	112.2
	（公共下水道整備費）	（ 244,362 ）	（ 191,844 ）	（ 52,518 ）	（ 127.4 ）
	（流域下水道整備費）	（ 97,497 ）	（ 114,320 ）	（ △ 16,823 ）	（ 85.3 ）
	（受益者負担金事務経費）	（ 9,455 ）	（ 5,466 ）	（ 3,989 ）	（ 173.0 ）
	（固定資産購入費）	（ 799 ）	（ 2,214 ）	（ △ 1,415 ）	（ 36.1 ）
	企業債償還金	2,842,148	2,801,797	40,351	101.4
	（公共下水道企業債償還金）	（ 2,189,254 ）	（ 2,199,592 ）	（ △ 10,338 ）	（ 99.5 ）
	（流域下水道企業債償還金）	（ 234,934 ）	（ 231,745 ）	（ 3,189 ）	（ 101.4 ）
	（水洗便所貸付事業償還金）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ － ）
	（資本費平準化債償還金）	（ 417,960 ）	（ 370,460 ）	（ 47,500 ）	（ 112.8 ）
	貸付金	0	0	0	－
	支出合計	3,194,261	3,115,641	78,620	102.5
資本的収支不足額		1,748,608	1,669,386	79,222	104.7
補填財源	損益勘定留保資金	1,728,183	1,656,211		
	消費税資本的収支調整額	20,425	13,175		

4 資金収支（内部留保資金の状況）

（単位：千円）

項目	平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比(%)
年度当初余剰額	409,222	△50,796	460,018	－
当年度発生額	1,908,183	2,129,404	△ 221,221	89.6
当年度使用額	1,748,608	1,669,386	79,222	104.7
当年度末余剰額	568,797	409,222	159,575	－

5 汚水処理原価と下水道使用料単価（1㎥当たり）

（単位：円）

項目	平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比(%)
汚水処理原価	116.99	119.37	△ 2.38	98.0
下水道使用料単価	81.18	81.30	△ 0.12	99.9
差引	△ 35.81	△ 38.07	2.26	－

（参考）平成２７年度病院事業会計決算の概要

１．業　務　量

区　　分		平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比（%）
許可病床数※　　床		436	446	△ 10	97.8
稼働病床数※　　床		391	367	24	106.5
入	延患者数　　人	120,739	114,595	6,144	105.4
	1日患者数　　人	329.9	314.0	15.9	105.1
	許可病床利用率　%	75.2	70.4	4.8	106.8
	稼働病床利用率　%	85.7	85.5	0.2	100.2
院	1人1日診療収入　円	52,835	51,307	1,528	103.0
外	延患者数　　人	225,943	222,952	2,991	101.3
	1日患者数　　人	929.8	913.7	16.1	101.8
来	1人1日診療収入　円	13,005	12,032	973	108.1

※平成２７年度　許可病床数　4月～6月446床、7月以降436床　　稼働病床数　4月～6月367床、7月以降391床

２．収 益 的 収 支

（単位　千円）

区　　分		平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比（%）
収入	医　業　収　益	9,961,818	9,193,758	768,060	108.4
	（入院収益）	6,379,228	5,879,487	499,741	108.5
	（外来収益）	2,938,295	2,682,566	255,729	109.5
	（他会計負担金）	481,249	475,220	6,029	101.3
	（そ　の　他）	163,046	156,485	6,561	104.2
	医業外収益	993,553	931,984	61,569	106.6
	（他会計補助金）	272,463	258,679	13,784	105.3
	（他会計負担金）	194,389	186,920	7,469	104.0
	（長期前受金戻入）	26,545	22,407	4,138	118.5
	（資本費繰入収益）	347,330	336,656	10,674	103.2
	（そ　の　他）	152,826	127,322	25,504	120.0
	特　別　利　益	5,798	1,409,698	△ 1,403,900	0.4
	（退職給付引当金戻入）	0	1,393,613	△ 1,393,613	皆減
	（そ　の　他）	5,798	16,085	△ 10,287	36.0
	収　益　合　計	10,961,169	11,535,440	△ 574,271	95.0
支出	医　業　費　用	10,656,543	10,065,424	591,119	105.9
	（給　与　費）	5,868,285	5,415,386	452,899	108.4
	（材　料　費）	2,167,269	1,968,279	198,990	110.1
	（経　　費）	1,897,131	1,902,794	△ 5,663	99.7
	（減価償却費）	660,520	687,730	△ 27,210	96.0
	（そ　の　他）	63,338	91,235	△ 27,897	69.4
	医業外費用	426,031	399,689	26,342	106.6
	特　別　損　失	4,667	355,122	△ 350,455	1.3
	（賞与引当金繰入額）	0	258,662	△ 258,662	皆減
	（法定福利費引当金繰入額）	0	42,563	△ 42,563	皆減
	（貸倒引当金繰入額）	0	3,908	△ 3,908	皆減
	（そ　の　他）	4,667	49,989	△ 45,322	9.3
	費　用　合　計	11,087,241	10,820,235	267,006	102.5
経　常　利　益		△ 127,203	△ 339,371	212,168	37.5
収益的収支差		△ 126,072	715,205	△ 841,277	△ 17.6
会計基準変更による影響額除く		△ 126,072	△ 373,275	247,203	33.8

３．資 本 的 収 支

（単位　千円）

区　　分		平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比（%）
収入	企　業　債	625,300	508,500	116,800	123.0
	他会計負担金	50,779	49,968	811	101.6
	寄　附　金	0	1,000	△ 1,000	皆減
	補　助　金	0	40,377	△ 40,377	皆減
	固定資産売却代金	0	191	△ 191	皆減
	収　入　合　計	676,079	600,036	76,043	112.7
支出	建設改良費	690,659	584,420	106,239	118.2
	企業債償還金	712,128	690,861	21,267	103.1
	他会計借入金償還金	0	100,000	△ 100,000	皆減
	退職手当組合負担金	365,679	209,941	155,738	174.2
	支　出　合　計	1,768,466	1,585,222	183,244	111.6
資本的収支差		△ 1,092,387	△ 985,186	△ 107,201	110.9

４．収 支 差 及 び 資 金

（単位　千円）

区　　分		平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比（%）
	収益的収支差	△ 126,072	715,205	△ 841,277	△ 17.6
	資本的収支差	△ 1,092,387	△ 985,186	△ 107,201	110.9
合計収支差		△ 1,218,459	△ 269,981	△ 948,478	451.3
現金の支出を伴わない		722,276	△ 295,876	1,018,152	△ 244.1
	減価償却費等	722,276	△ 295,876	1,018,152	△ 244.1
当年度留保資金		△ 496,183	△ 565,857	69,674	87.7
前年度末留保資金		△ 3,562,320	△ 2,996,463	△ 565,857	118.9
留保資金合計額		△ 4,058,503	△ 3,562,320	△ 496,183	113.9
累積利益剰余金		1,289,579	1,415,651	△ 126,072	91.1

５．繰 入 金 内 訳

（単位　千円）

区　　分		平成２７年度	平成２６年度	増減	前年比（%）
収益的収入		1,295,431	1,257,475	37,956	103.0
	基準内繰入金	1,295,431	1,257,475	37,956	103.0
	基準外繰入金	0	0	0	－－－
資本的収入		50,779	49,968	811	101.6
	基準内繰入金	50,779	49,968	811	101.6
	基準外繰入金	0	0	0	－－－
繰入金合計		1,346,210	1,307,443	38,767	103.0

Ⅵ　財政用語の解説

＜実質収支比率＞

・標準財政規模＋臨時財政対策債発行可能額に対する実質収支額の割合
・実質収支額が黒字の場合は、正数、赤字の場合は、負数で表わされます。
・概ね、標準財政規模の３％から５％程度が望ましいとされます。
・実質収支比率がマイナスの２０％以上となると財政再生団体となり地方債の発行が制限されます。

＜実質単年度収支＞

・単年度収支には、実質的な黒字要素や赤字要素が含まれているので、これらを控除した単年度収支のこと。
・実質単年度収支=当該年度実質収支-前年度実質収支+財政調整基金積立額+地方債繰上償還額-財政調整基金取崩額

＜基準財政需要額＞

・普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が合理的、妥当な水準における行政を行い、又は、施設を維持するための財政需要を一定の方法により算定した額。

＜基準財政収入額＞

・普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するため、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法により算定した額。

＜標準財政規模＞

・地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもの。平成20年度以降は、臨時財政対策債発行可能額を標準財政規模に含むこととされました。

＜減税補てん債＞

・恒久的な減税及び平成１５年度税制改正における先行減税による地方公共団体の減収額を埋めるために、地方財政法第５条の特例として発行される地方債であり、市税の振り替わりとしての性格を持つものです。定率減税の廃止に伴い、平成１９年度より廃止されました。

＜物件費＞

・消耗品の購入、市職員の出張旅費、備品購入費、委託料などの市が支出する消費的な経費の総称です。

＜扶助費＞

・社会保障制度の一環として市が各種法令に基づいて実施する給付や、市が単独で行っている各種扶助に係る経費。具体的には、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づく給付がこれにあたります。

＜補助費等＞

・市が各種団体などに交付する補助金、講師謝礼、火災保険料などの経費。企業会計（水道、病院、下水道）に対する補助金などがここに含まれます。

＜繰出金＞

・一般会計と特別会計または特別会計相互間において支出される費用。また、定額の資金を運用するための基金（土地開発基金など）に対する経費も繰出金に含まれます。

＜義務的経費＞

・地方公共団体の歳出のうち、任意に削減できない極めて硬直性が強い経費。職員の給与等の人件費、生活保護費等の扶助費及び地方債の元利償還金等の公債費からなっています。

＜投資的経費＞

・道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費から構成されています。